

駐車実態調査を踏まえた将来の駐車場供給量と駐車需要量、課題及び対応方針

令和 6 年 9 月 築地地区駐車場整備計画検討委員会 事務局

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の目的及び手順 | …P. 1 |
| 2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較 | …P. 7 |
| 3 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較を踏まえた課題及び対応方針 | …P. 17 |

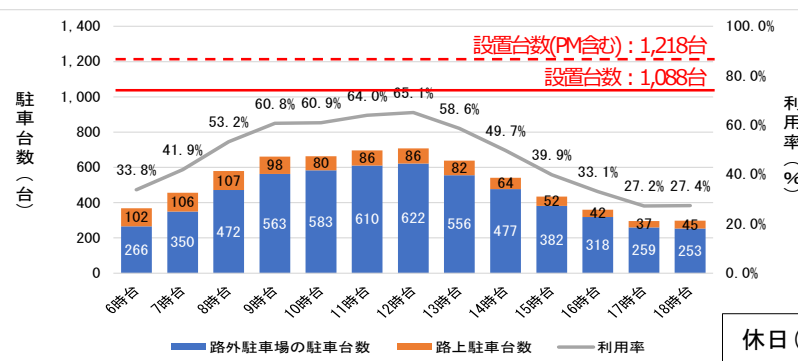
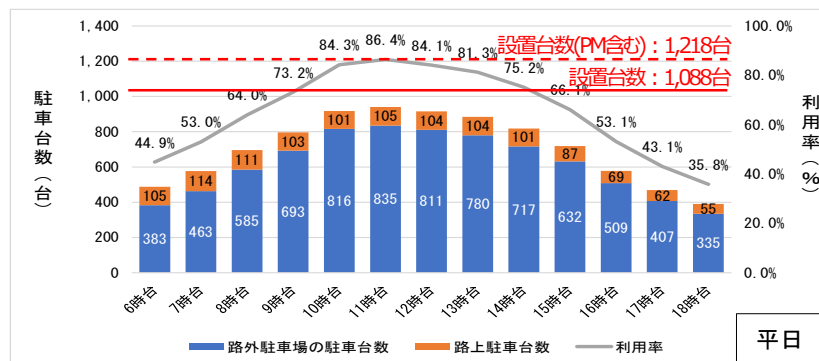
1 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の目的及び手順

1 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の目的及び手順

(1) 検証の目的

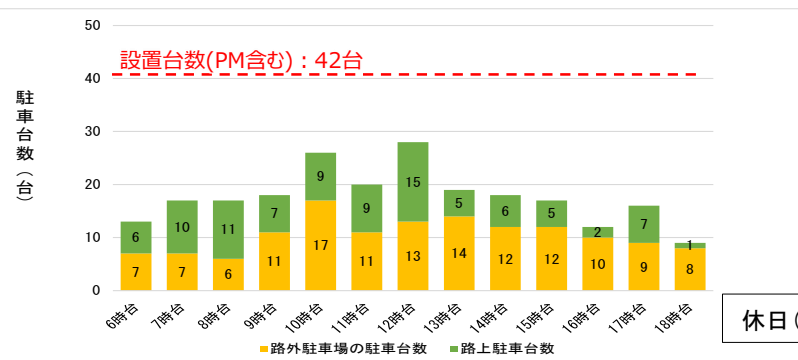
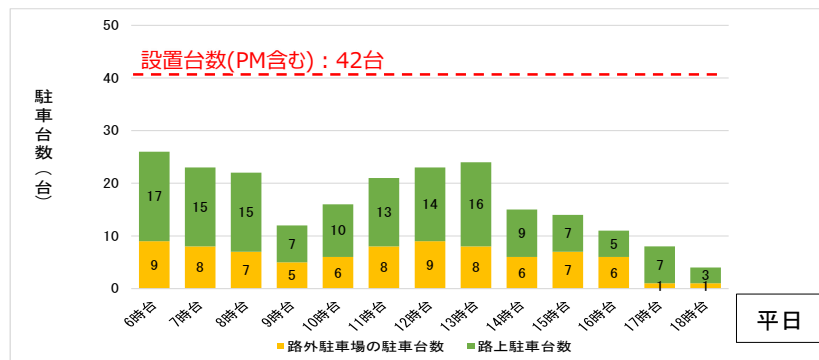
- ・ 資料4では、駐車実態調査で把握したデータを基に、現況の駐車場供給量（路外駐車場の設置台数）と駐車需要量（路外駐車場における駐車台数と路上駐車台数の一部の合計）との比較を行いました。
- ・ 本資料では、小型・中型車両及び大型車両（普通貨物車、特種車）について将来的な駐車場供給量と駐車需要量の比較を行い、駐車課題への対応方針を検討することを目的としています。
- ・ なお、大型車両（バス、マイクロバス）の駐車需要はエリアD（場外市場）の観光客数に大きく依存すると考えられますが、将来の観光客数を推計することが困難なことから、大型車両（バス、マイクロバス）の将来の駐車場供給量と駐車需要量の推計は行っていません。
- ・ また、自動二輪車についても特定エリア（エリアD）の駐車需要に偏っており、同エリアへの来訪者数（従業員、観光客）に大きく依存すると考えられますが、同様に将来の来訪者数の推計が困難であることから、将来の駐車場供給量と駐車需要量の推計は行っていません。

■ 現況の駐車場供給量と駐車需要量の比較（小型・中型車両） ※築地地区全体（資料4のP.43の再掲）



※図中赤色実線は路外駐車場の設置台数、赤色破線は路外駐車場の設置台数にPMの枠数を加えた台数

■ 現況の駐車場供給量と駐車需要量の比較（大型車両（普通貨物車、特種車）） ※築地地区全体（資料4のP.46の再掲）



※図中赤色破線はPMの枠数（路外駐車場の設置台数は0台）

1 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の目的及び手順

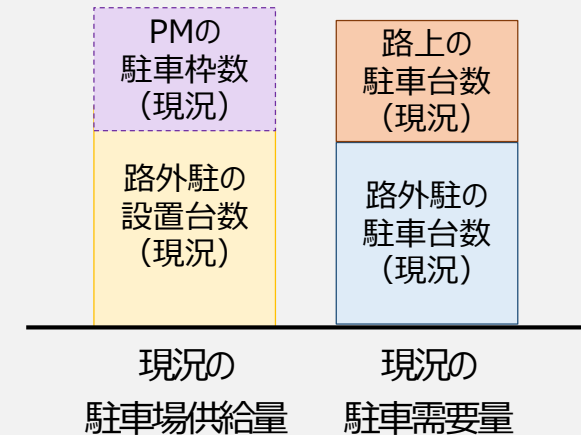
(2) 検証の手順

- ・ 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の手順は以下のとおりとします。

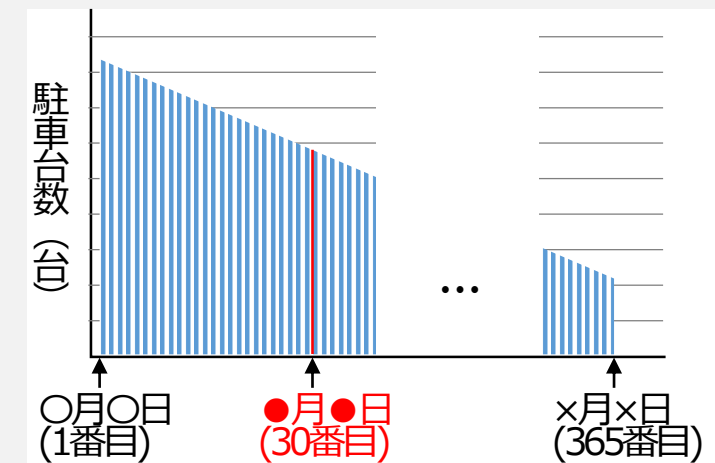
① 現況の駐車場供給量と駐車需要量の確認

- ・ 実態調査の結果から、現況の駐車場供給量（路外駐車場の設置台数）と駐車需要量（路外駐車場の駐車台数+路上の駐車台数）を改めて確認
- ・ 築地地区においてパーキングメーターが一定数設置されていることを踏まえ、パーキング・メーター(PM)の駐車枠数もあわせて確認

※図中「路上の駐車台数」は、全路上駐車のうち、本来は「一般公共の用に供する駐車場」に駐車すべきだが、何らかの理由で路上駐車した車両の台数（以下同）



- ・ なお、駐車施設の計画においては、年間365日の駐車台数を降順に並び替えて30番目にあたる駐車台数を、計画台数の基準とする考え方があります。
- ・ その考え方にに基づき、現況の駐車需要量については365日中の30番目の需要量を把握することを目指して調査を実施しています。
- ・ そのため、将来の駐車需要量についても将来における年間365日中の30番目の需要量として推計します。



年間365日の駐車台数を降順に並び替えた場合のグラフのイメージ

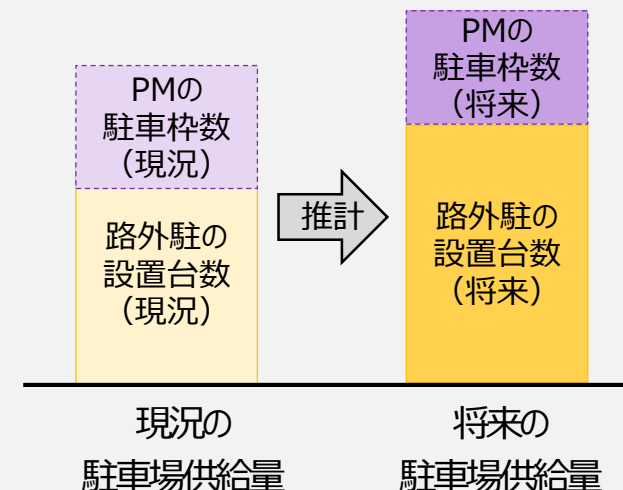
1 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の目的及び手順

(2) 検証の手順

- ・ 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の手順は以下のとおりとします。

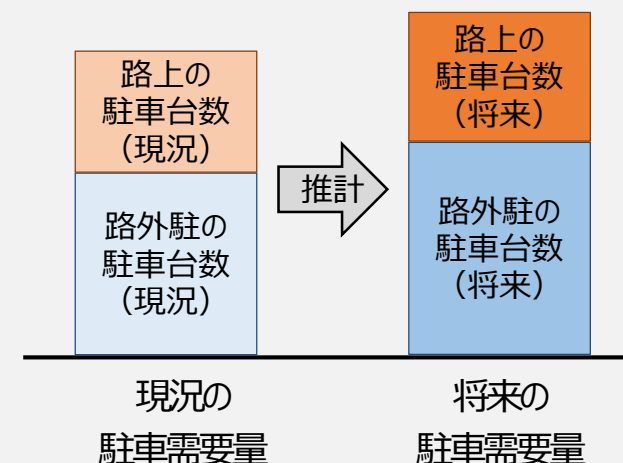
② 将来の駐車場供給量の推計（詳細はP.6参照）

- ・ 築地地区において将来、建物の建て替えが進んだ場合の延床面積を算出します。
- ・ 将来の駐車場供給量は、新たに建設された建物に整備しなければならない附置義務駐車施設の現況からの増加台数の一部が「一般公共の用に供する駐車場」として運用されると仮定し、その駐車区画数を増加分として見込みます。
- ・ また、「同一敷地内に建物がなく、独立して設置されている駐車施設」の敷地に建物が建てられた場合の減少分や、大規模開発によるPMの駐車枠数の減少分を見込みます。



③ 将来の駐車需要量の推計（詳細はP.6参照）

- ・ 築地地区において将来、建物の建て替えが進んだ場合の延床面積を算出します。
- ・ 将来の延床面積に基づいて、将来の駐車需要量を推計します。



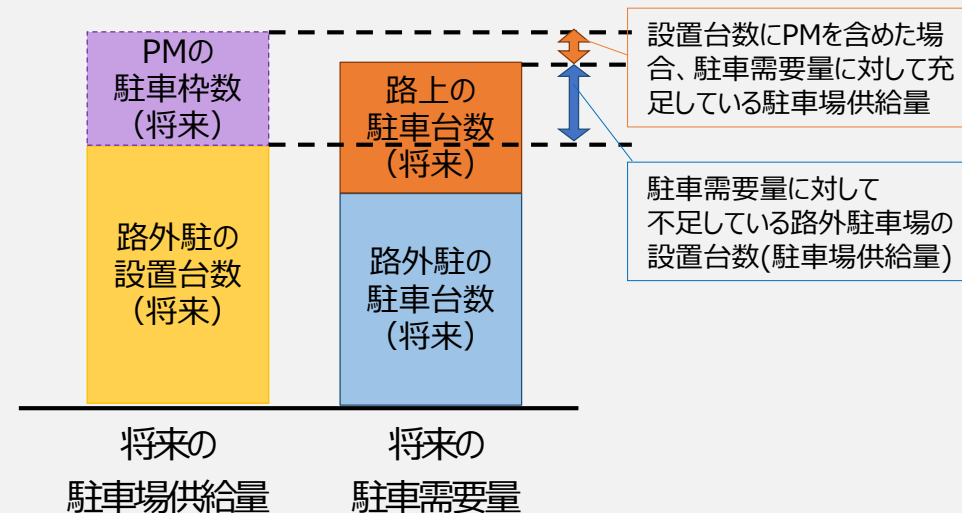
1 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の目的及び手順

(2) 検証の手順

- ・ 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の手順は以下のとおりとします。

④ 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較検証

- ・ ②③から、将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較検証を行います（供給量が充足しているか、不足しているか）。
- ・ 検証結果を踏まえ、駐車対策の方向性を示します。



1 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較の目的及び手順

(3) 現況と将来の駐車場供給量・駐車需要量の算出方法

- ・ 現況と将来の駐車場供給量・駐車需要量の算出方法は下表のとおりとなります。

		現況		将来	
		駐車場供給量	駐車需要量	駐車場供給量	駐車需要量
路外駐車場 (一般公共の用に供する駐車場)	建物と同一敷地内にある駐車施設	調査時点で一般公共の用に供する駐車場の設置台数	調査時点で一般公共の用に供する駐車場の駐車台数	以下①②の台数の合計 ①調査時点で一般公共の用に供する駐車場の設置台数 ②20年以内に新たに整備されると想定する建築物において整備される一般公共の用に供する駐車場の設置台数 ※②の算出方法は以下のとおり ア 20年以内に新たに整備されると想定される建築物((ア)~(ウ))において整備される駐車施設台数(附置義務台数と同数)を算出 (ア) 予定されている2件の大規模開発 (イ) 20年以内に建て替えが生じると想定する建築物(現時点で築40年以上の建築物)が最有効容積で建て替わった場合の建築物 (ウ) 現存している「同一敷地内に建物がなく、独立して設置されている駐車施設」のうち建築敷地として利用され最有効容積で建築されると想定した場合の建築物 イ ア(ア)~(ウ)のそれぞれについて現況の建築物において整備されている駐車場台数を差し引く ウ 築地全体の現況の建物に附置されている駐車施設のうち、一般公共の用に供されている駐車場の割合を算出 エ イ×ウにより、20年以内に整備されると想定する建築物において整備される駐車施設のうち、一般公共の用に供する駐車場の台数を算出	・ 現況の駐車需要量と現況及び将来の建物の用途別床面積より将来の駐車需要を推計(p9を参照)
	同一敷地内に建物がなく、独立して設置されている駐車施設	調査時点で一般公共の用に供する駐車場の設置台数	調査時点で一般公共の用に供する駐車場の駐車台数	・ 現在立地している同一敷地内に建物がなく、独立して設置されている駐車施設の箇所数のうち、1/3が建築敷地として利用されると想定し、その分の台数を除外 ※建築敷地として利用される駐車施設の選定方法 現在立地している同一敷地内に建物がなく、独立して設置されている駐車施設を敷地面積が大きい順に並べ、1番目から3つごとに対象とする	
路上	パーキングメーター	含まない(※なお、参考としてパーキングメーターを含む場合も記載)	調査時点で路上駐車台数のうち、一般公共の用に供する駐車場を利用しないために発生したと考えられるもの	・ 予定されている2件の大規模開発を契機としたパーキングメーターの撤去を反映 ・ 残りのパーキングメーターについては、20年後も残存すると想定し、供給量に含まない。(※参考として供給量にパーキングメーターを含む場合も記載)	
	その他路上	なし		なし	

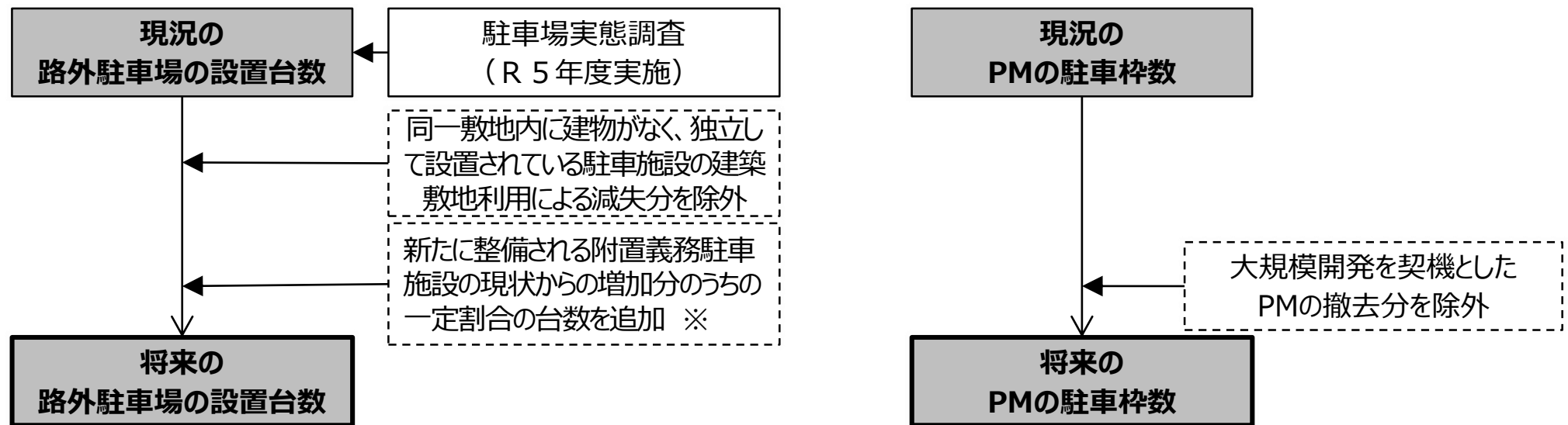
2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

(1) 将来の駐車場供給量(将来の路外駐車場の設置台数)の推計

① 推計の方法

- ・ 将来の供給量については、駐車場実態調査によって明らかとなった現況の路外駐車場の設置台数を基に、築地川第一・第二・第三駐車場及び暫定貸付地を除く「同一敷地内に建物がなく、独立して設置されている駐車施設」のうち1/3が将来建築敷地として利用されたと仮定し、その減失分を除外します。
- ・ また、新たに整備されると想定する建物（大規模開発分を含む）の附置義務駐車施設に関して、現状からの増加台数分のうち、一定割合が「一般公共の用に供する駐車場」として運用されると仮定し、将来の設置台数に追加します。
- ・ 将来のPMの駐車枠数については、現時点で計画されている大規模開発を契機としたPMの撤去分を除外した駐車枠数とします。



※ (新たに整備される附置義務駐車施設の現状からの増加分のうちの一定割合の台数)
= { (将来の附置義務駐車施設台数) - (現況の附置義務駐車施設台数) } × (一般公共の用に供する駐車場として運用される駐車区画の比率)
(一般公共の用に供する駐車場として運用される駐車区画の比率)
= (現況の建物と同一敷地内にある駐車場のうち一般公共の用に供する駐車場の設置台数) / (現況の建物と同一敷地内にある駐車場の設置台数)

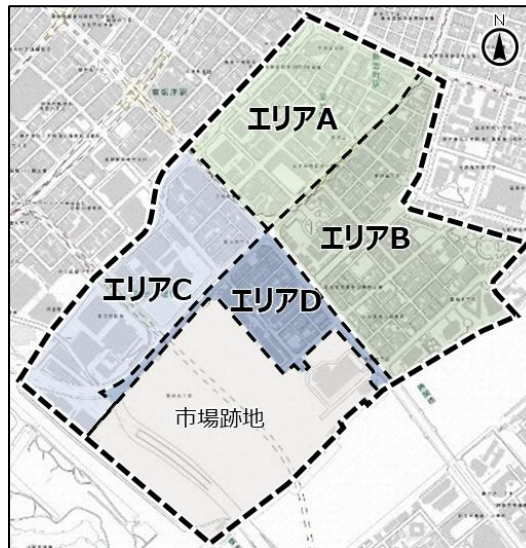
2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

(1) 将来の駐車場供給量(将来の路外駐車場の設置台数)の推計

② 将来の路外駐車場の設置台数の推計

- ・ 将来の路外駐車場の設置台数を推計すると、以下のとおりとなります。
- ・ 築地川第一・第二・第三駐車場及び暫定貸付地を除く「同一敷地内に建物がなく、独立して設置されている駐車施設」のうち1/3が将来建築敷地として利用されたと仮定すると、地区全体で45台分の小型・中型車両の駐車区画の設置台数が減少します。
- ・ また、新たに整備される建物の附置義務駐車施設のうち、一定の割合の駐車区画が「一般公共の用に供する駐車場」（小型・中型車両）に運用されると仮定すると、地区全体で72台分の小型・中型車両の駐車区画の設置台数が増加します。
- ・ その結果、築地地区全体として27台の小型・中型車両用の路外駐車場が増加し、将来の設置台数は1,115台となります。

表 路外駐車場の現況の設置台数と将来の設置台数の推計



	同一敷地内に建物がなく、独立して設置されている駐車施設の建築敷地利用により減少する路外駐車場の設置台数 (①)	新たに整備される建物による附置義務駐車施設の増加台数	一般公共の用に供する駐車場として運用される駐車区画の比率	新たに整備される建物により増加する路外駐車場の設置台数 (②)
エリアA	-12台	339台	15.0%	51台
エリアB	-16台	20台	4.5%	1台
エリアC	-17台	31台	65.4%	20台
エリアD	0台	0台	0.0%	0台
築地地区全体	-45台	390台	32.8%	72台

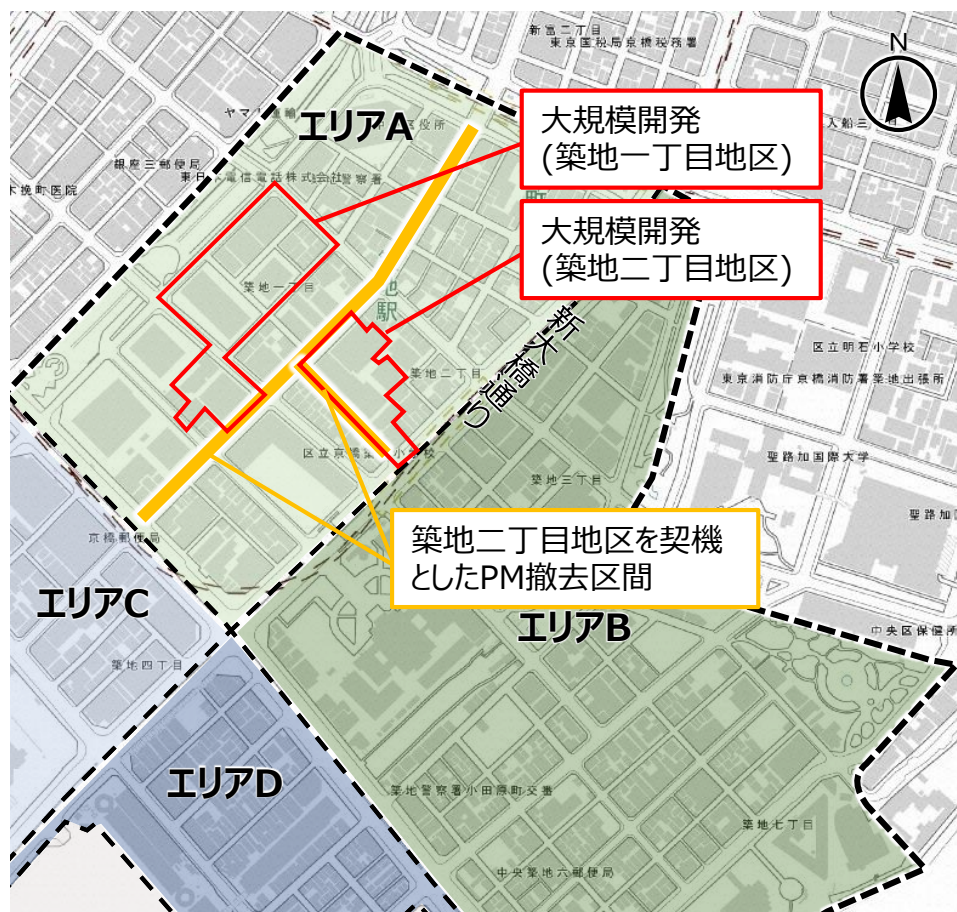
	現況の路外駐車場の設置台数		① + ②		将来の路外駐車場の設置台数	
	小型・中型車両用	大型車両(普通貨物車、特種車)用	小型・中型車両用	大型車両(普通貨物車、特種車)用	小型・中型車両用	大型車両(普通貨物車、特種車)用
エリアA	114台	0台	39台	0台	153台	0台
エリアB	238台	0台	-15台	0台	223台	0台
エリアC	492台	0台	3台	0台	495台	0台
エリアD	244台	0台	0台	0台	244台	0台
築地地区全体	1,088台	0台	27台	0台	1,115台	0台

2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

(1) 将来の駐車場供給量(将来の路外駐車場の設置台数)の推計

③ 将来のPMの駐車枠数の推計

- ・ 築地地区で計画されている大規模開発事業（築地二丁目地区）を契機とした周辺路線のPMの撤去を考慮すると、将来の駐車枠数は102台（うち貨物車用38台）となり、現在の駐車枠数から－28台（うち貨物車用－4台）となります。
- ・ なお、築地一丁目地区を契機としたPMの撤去台数は未定となっています。



大規模開発事業とPM撤去範囲

表 PMの駐車枠数の現況と将来推計の比較

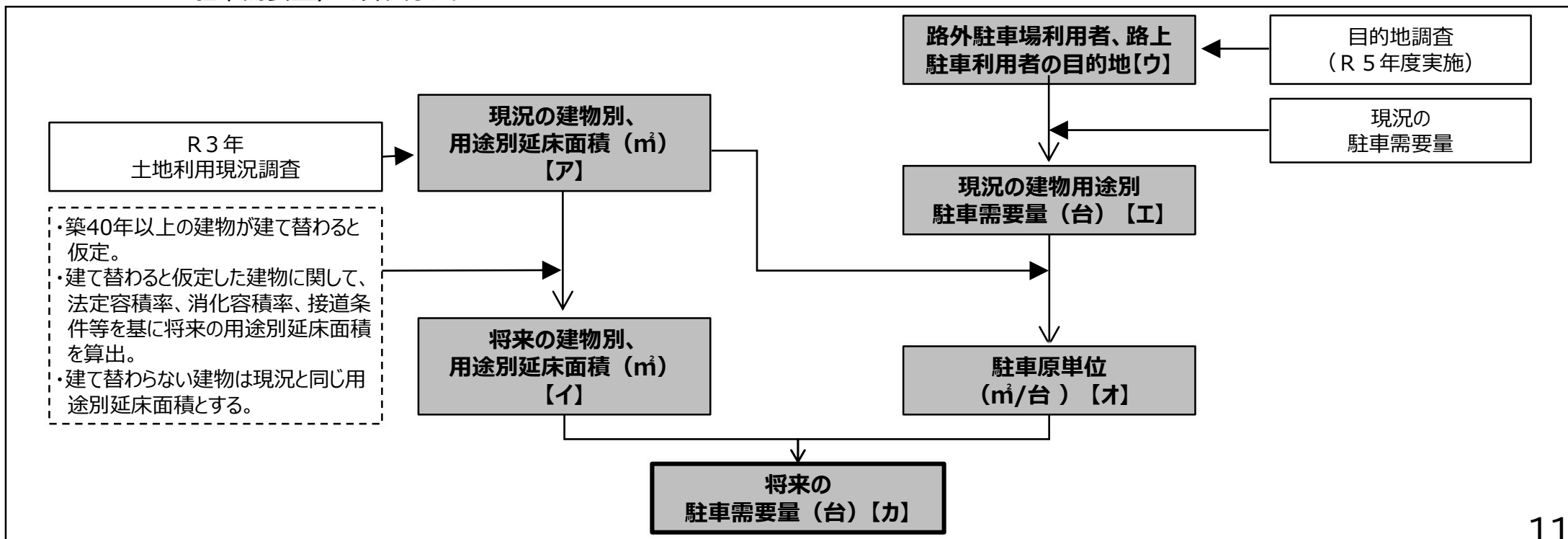
	現況		将来		差分（＝将来－現況）	
	PM	うち貨物車用	PM	うち貨物車用	PM	うち貨物車用
エリアA	76	22	48	18	-28	-4
エリアB	28	15	28	15	0	0
エリアC	26	5	26	5	0	0
エリアD	0	0	0	0	0	0
合計	130	42	102	38	-28	-4

2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

(2) 将来の駐車需要量の推計

① 推計の方法

- 【ア】 現況の建物別、用途別延床面積は令和3年土地利用現況調査結果を基本に設定しています。
- 【イ】 将来の建物別、用途別延床面積の算出においては、築年数が40年以上の建物が建て替わるものと仮定しました。建て替わると仮定した建物に関して、法定容積率、消化容積率、接道条件等を基に将来の用途別延床面積を算出しました。なお、建て替わらない建物に関しては、現況と同じ用途別延床面積とします。
- 【ウ】 目的地調査結果（駐車場利用者、路上駐車をしている人へのアンケート調査結果）からエリア別（駐車箇所別）に駐車後の目的地（場外市場・場外市場以外別の施設別（事務所、百貨店・その他店舗、その他特定用途、住居・非特定用途））の構成比を算出します。
- 【エ】 ピーク時のエリア別の駐車需要量に目的地の構成比を乗じ、現況のエリア別建物用途別駐車需要量を算出します。
- 【オ】 【ア】の整理結果から算出したエリア別建物用途別延床面積を、【エ】で算出した現況のエリア別建物用途別駐車需要量で除し、駐車需要量1台当たりの、エリア別建物用途別面積（駐車原単位）を算出します。
- 【カ】 【イ】で算出した将来のエリア別建物用途別延床面積を【オ】で算出した駐車原単位で除し、将来のエリア別建物用途別駐車需要量（将来の駐車需要量）を算出します。



2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

(2) 将来の駐車需要量の推計

② 将来の建物用途別床面積の推計

- ・ 築地地区において、将来、建物が建て替わることを見込んだ建物用途別床面積を推計します。
- ・ 建て替えに当たっての条件設定は以下のとおりとします。
 - ア 20年後の将来を想定し、地区内の主要な大規模建築物を除く建物のうち、2024年時点で築年数が40年以上の建物が建て替わると仮定します。（1984年12月31日までに確認申請が行われた建築物で現存している建物を築40年以上と設定）
 - イ 建て替わる建物は、地区計画に定められている容積率の最高限度まで建て替わるものとします。
 - ウ 現在計画されている大規模開発（築地一丁目地区、築地二丁目地区）については計画の内容を反映
- ・ 築地地区における建て替えによる建物用途別床面積の増加分は全体の10.9%程度（198,730㎡）となっています。

表 現況及び将来の建物用途別床面積（㎡）

エリア別の建物用途別床面積 (㎡)	現況					将来					伸び率(将来/現況)				
	事務所	百貨店その他店舗	その他特定用途	住宅・非特定用途	合計	事務所	百貨店その他店舗	その他特定用途	住宅・非特定用途	合計	事務所	百貨店その他店舗	その他特定用途	住宅・非特定用途	合計
エリアA	291,722	13,705	14,240	172,311	491,978	447,820	20,530	29,601	184,158	682,109	1.54	1.50	2.08	1.07	1.39
エリアB	169,366	16,326	31,123	368,938	585,752	170,242	18,817	35,699	356,843	581,601	1.01	1.15	1.15	0.97	0.99
エリアC	239,498	7,863	307,172	102,552	657,084	244,487	8,539	307,384	105,499	665,909	1.02	1.09	1.00	1.03	1.01
エリアD	21,223	24,121	12,002	34,901	92,248	21,852	24,974	12,573	36,774	96,173	1.03	1.04	1.05	1.05	1.04
築地地区全体	721,809	62,015	364,536	678,702	1,827,062	884,401	72,860	385,257	683,274	2,025,792	1.23	1.17	1.06	1.01	1.11

※小数以下の四捨五入の関係で、エリア毎、建物用途ごとの床面積の和と、築地地区全体、合計の値が一致しない場合があります。

2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

(2) 将来の駐車需要量の推計

③ 駐車原単位

- ・現在の駐車需要量と目的地調査の結果から、小型・中型車両及び大型車（普通貨物車、特種車）の駐車原単位（各用途で1台の駐車場を整備する基準となる床面積）を算出します。
- ・算出したエリア別の原単位は次の通りです。

■ 駐車原単位（㎡／台）

小型・中型車両（普通自動車、軽自動車、タクシー・ハイヤー）

	事務所		百貨店その他店舗		その他特定用途		住宅・非特定用途	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日
エリアA	12,684	32,414	1,246	761	619	475	86,156	172,311
エリアB	2,871	9,409	1,256	2,721	486	610	36,894	10,541
エリアC	1,443	19,958	1,310	786	2,477	6,143	—	—
エリアD	965	21,223	191	98	101	174	—	—

小型・中型車両（軽・小型貨物）

	事務所		百貨店その他店舗		その他特定用途		住宅・非特定用途	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日
エリアA	16,207	48,620	1,713	1,142	791	712	172,311	172,311
エリアB	8,065	28,228	3,265	8,163	1,353	1,729	92,234	28,380
エリアC	21,773	119,749	—	7,863	38,396	43,882	—	—
エリアD	2,358	—	670	383	308	750	—	—

大型車両（普通貨物車、特種車）

	事務所		百貨店その他店舗		その他特定用途		住宅・非特定用途	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日
エリアA	97,241	291,722	13,705	6,853	4,747	3,560	—	—
エリアB	56,455	169,366	16,326	—	10,374	10,374	—	184,469
エリアC	119,749	239,498	—	—	153,586	153,586	—	—
エリアD	10,612	—	3,446	2,193	1,715	3,001	—	—

※エリアA～エリアCの駐車台数に関しては、各エリア内の駐車場利用者の目的地（場外市場内orその他）を考慮し、場外市場が目的地と回答した駐車場利用者の比率を乗じた台数を、場外市場が属するエリアDの駐車需要に加えて駐車原単位を算出した。

2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

(3) 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

① 築地地区全体

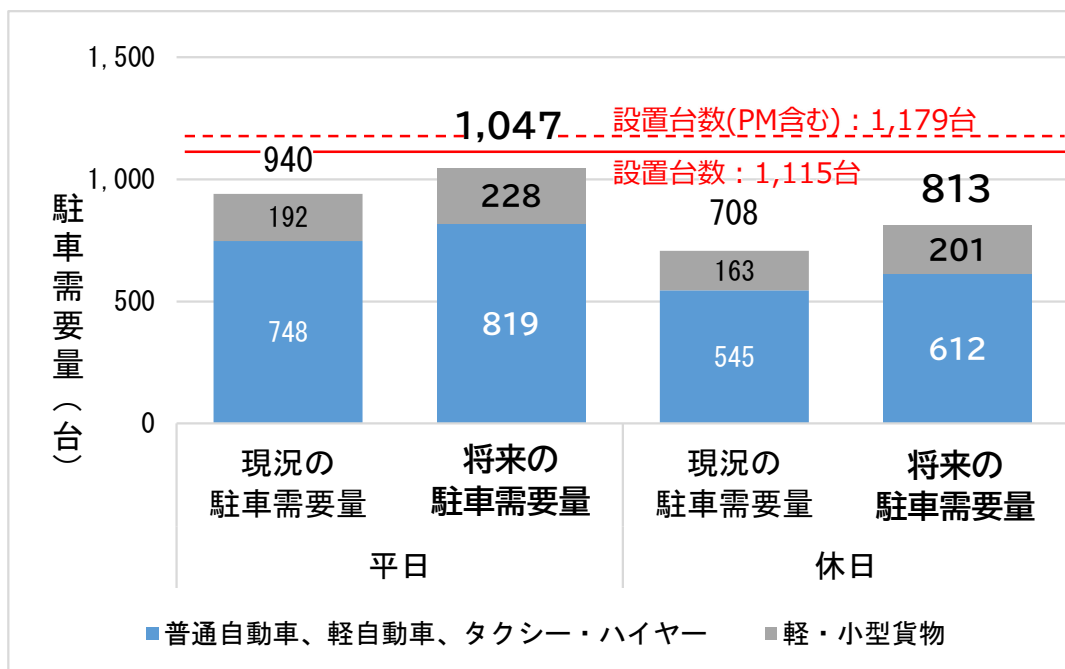
【小型・中型車両】

- ・ 築地地区全体では、平日の将来の駐車需要量は路外駐車場の駐車場供給量とほぼ同程度となります（平日の利用率は93.9%）。

【大型車両（普通貨物車、特種車）】

- ・ 築地地区全体では、平日、休日とも、現在設置されているパーキングメーター（貨物車用）を含めると駐車需要量を上回る駐車場供給量となります。

【小型・中型車両】



【大型車両（普通貨物車、特種車）】

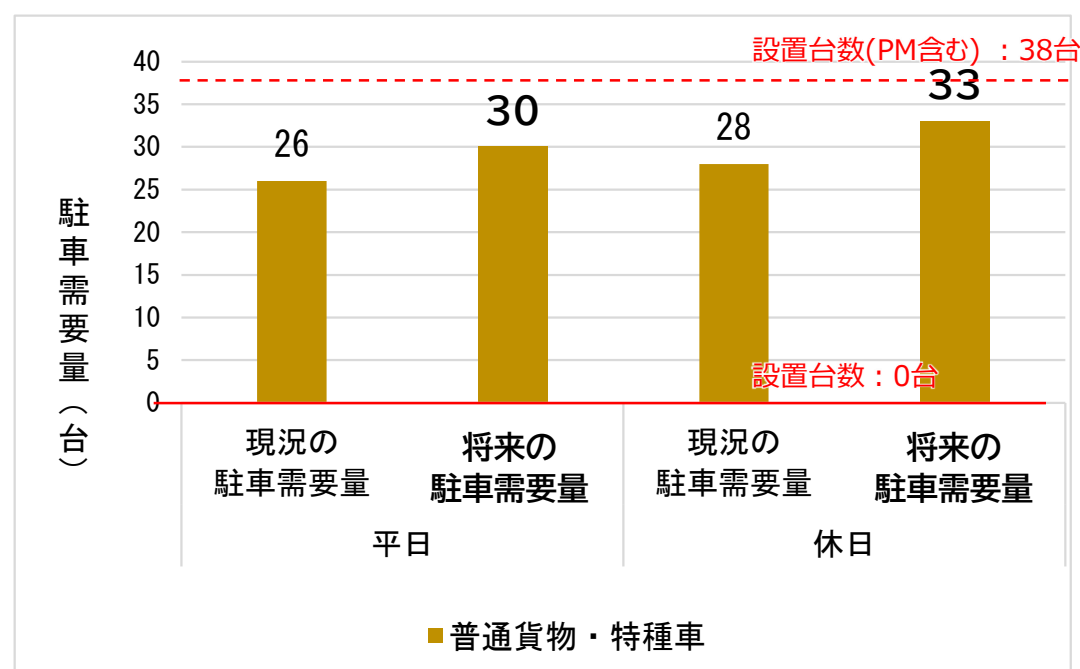


図 駐車需要量と駐車場供給量の比較

※ 駐車需要量は路外駐車場における駐車台数と路上駐車台数の一部（本来は「一般公共の用に供する駐車場」に駐車すべきだが、何らかの理由で路上駐車した車両）の合計

※ 図中赤色実線は路外駐車場の設置台数、赤色破線は路外駐車場の設置台数にPMの枠数を加えた台数

※ 上記の現況及び将来の駐車需要量は、地区全体のピーク時間帯の駐車需要量から推計しており、次頁に示すエリアごとのピーク時間帯の将来の駐車需要量の合計値とは一致しない。

2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

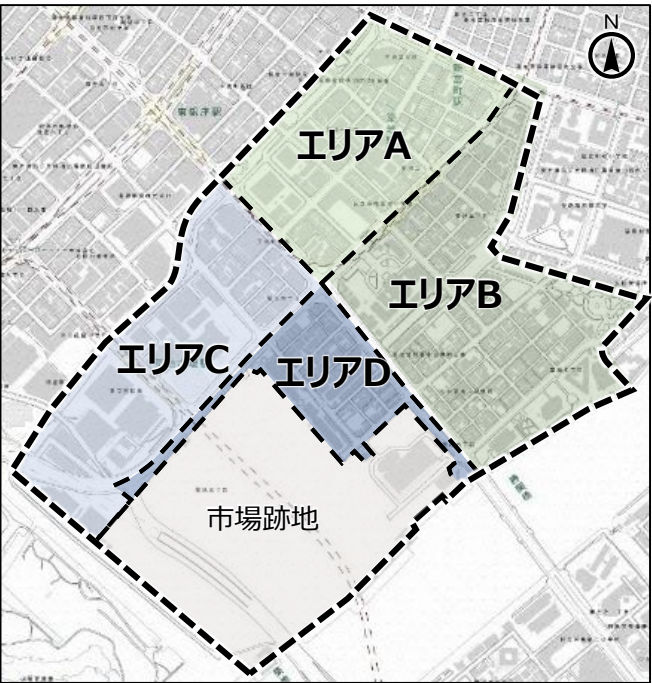
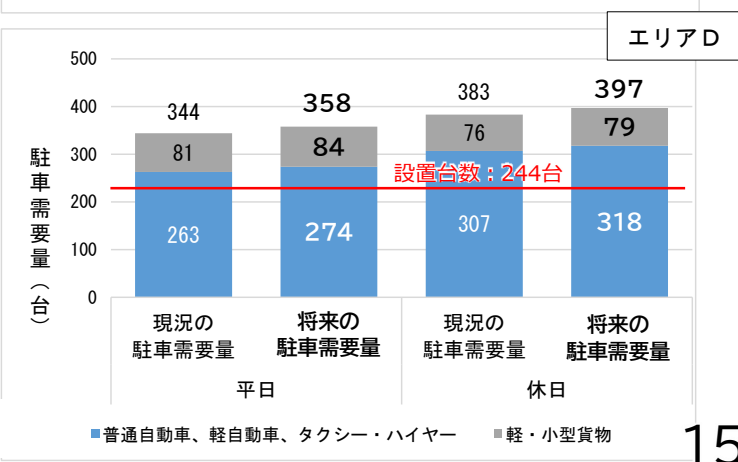
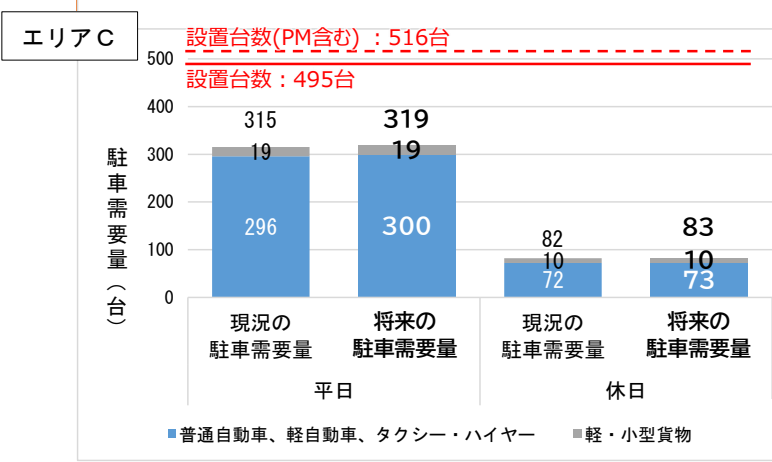
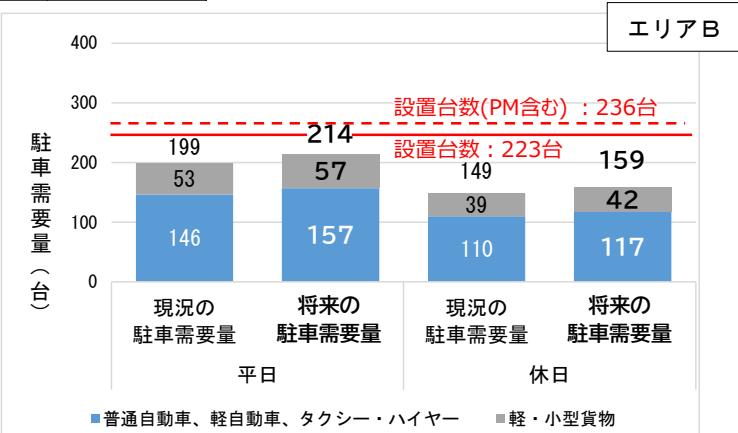
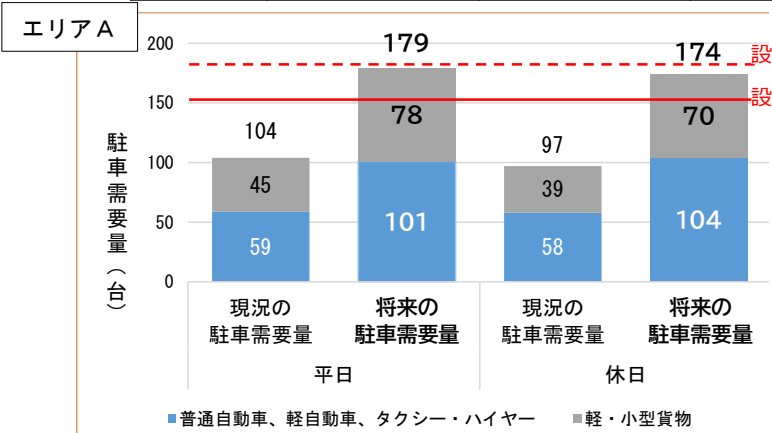
(3) 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

② エリア別（小型・中型車両）

・ エリアA、Dにおいて路外駐車場の設置台数を上回る駐車需要量が想定されます。

エリア	ピーク時の駐車台数(a)		設置台数(b)	ピーク時の利用率(a/b)		b-a	
	平日	休日		平日	休日	平日	休日
A	179台	174台	153台	117.0%	113.7%	-26台	-21台
B	214台	159台	223台	96.0%	71.3%	+9台	+64台
C	319台	83台	495台	64.4%	16.8%	+176台	+412台
D	358台	397台	244台	146.7%	162.7%	-114台	-153台

※ 図中赤色実線は路外駐車場の設置台数、赤色破線は路外駐車場の設置台数にPMの枠数を加えた台数
※ 駐車需要量は路外駐車場における駐車台数と路上駐車台数の一部（本来は「一般公共の用に供する駐車場」に駐車すべきだが、何らかの理由で路上駐車した車両）の合計
※ 駐車需要量のうち、各エリアから目的地を場外市場とする駐車需要量は、エリアDで計上
※ 利用率 = (路外駐車場における駐車台数 + 路上駐車台数の一部) / 路外駐車場の設置台数
※ エリアごとにグラフの縦軸の大きさが異なることに留意



出典：国土地理院「地理院地図」から作成
図 エリア別の駐車場供給量と駐車需要量の比較

2 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

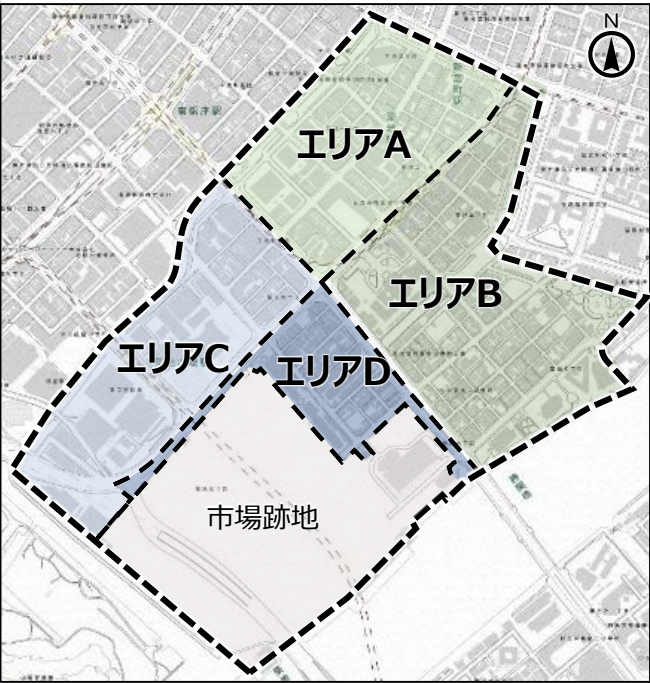
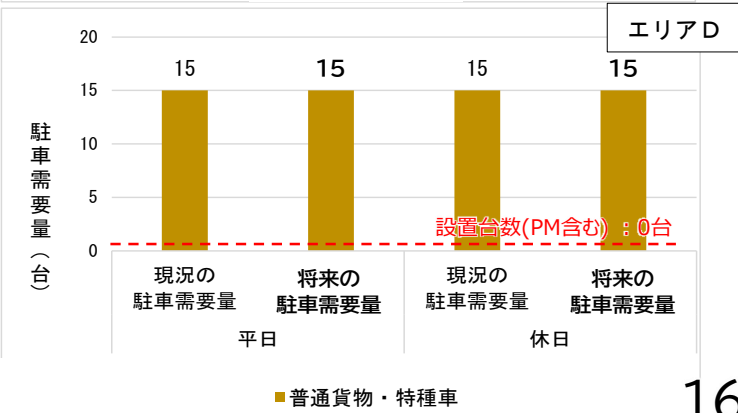
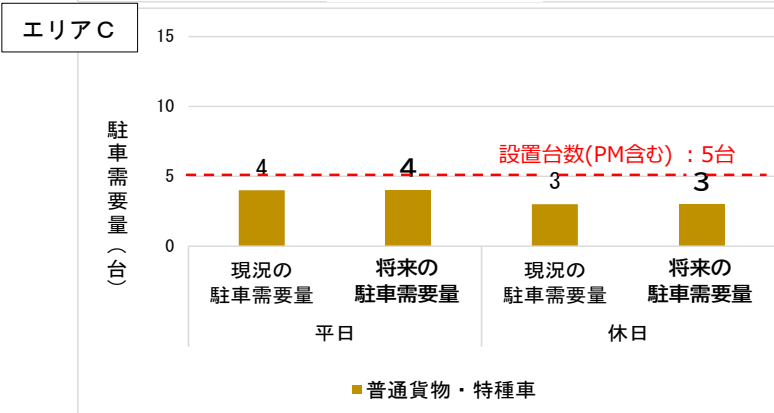
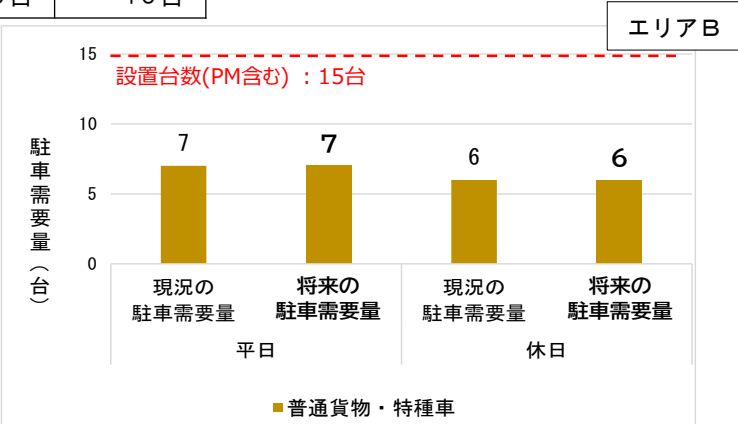
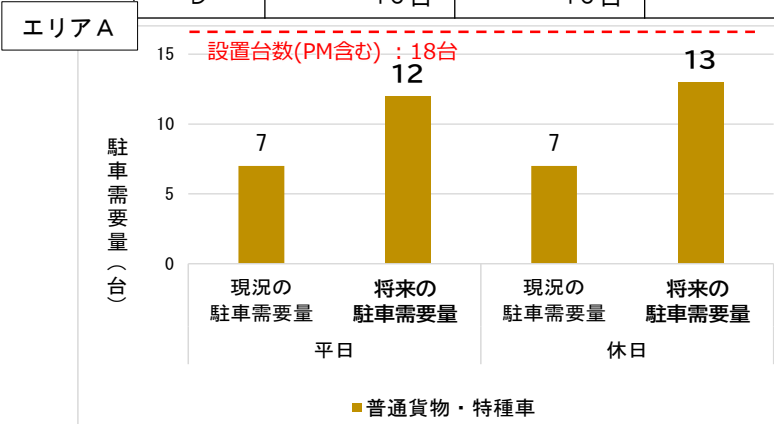
(3) 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較

③ エリア別（大型車両（普通貨物車、特種車））

・築地場外市場が立地するエリアDにおいては設置台数が0台ですが、将来においても現在と同様の駐車需要量が想定されます。

エリア	ピーク時の駐車台数(a)		設置台数		利用台数と設置台数の差			
	平日	休日	PM含まない (b)	PM含む (b')	PM含まない(b-a)		PM含む(b' -a)	
					平日	休日	平日	休日
A	12台	13台	0台	18台	-12台	-13台	+6台	+5台
B	7台	6台	0台	15台	-7台	-6台	+8台	+9台
C	4台	3台	0台	5台	-4台	-3台	+1台	+2台
D	15台	15台	0台	0台	-15台	-15台	-15台	-15台

※図中赤色破線は路上PMの枠数（路外駐車場の設置台数は0台）
※駐車需要量は路外駐車場における駐車台数と路上駐車台数の一部（本来は「一般公共の用に供する駐車場」に駐車すべきだが、何らかの理由で路上駐車した車両）の合計
※駐車需要量のうち、各エリアから目的地を場外市場とする駐車需要量は、エリアDで計上



出典：国土地理院「地理院地図」から作成

図 エリア別の駐車場供給量と駐車需要量の比較

3 将来の駐車場供給量と駐車需要量の比較を踏まえた課題及び対応方針

3 将来の駐車需要量と駐車場供給量を踏まえた課題及び対応方針

(1) 小型・中型車両

① エリアA

- ・ 将来の駐車需要量に対して路外駐車場の整備量（供給量）が不足しています。
- PMの取り扱いや大規模開発を契機とした来街者用駐車場の整備等について検討が必要です。

② エリアB

- ・ 将来の駐車需要量に対して路外駐車場の整備量（供給量）が上回っているため、問題ないと想定されます。

③ エリアC

- ・ 将来の駐車需要量に対して路外駐車場の整備量（供給量）が上回っているため、問題ないと想定されます。

④ エリアD

- ・ 将来の駐車需要量に対して路外駐車場の整備量（供給量）が不足しています。
- 不足分の路外駐車場の確保が必要となります。併せて、近接するエリア内の主要な路外駐車場との台数の分担等についても検討が必要です。
- また、場外市場及びその周辺の路上や築地川第一駐車場で荷捌きを行っている軽・小型貨物車の需要（荷捌き需要）については、区有施設の再編や波除通りの路上の荷捌きスペースの整備等で受け入れることを含めた検討が必要です。

3 将来の駐車需要量と駐車場供給量を踏まえた課題及び対応方針

(2) 大型車両(普通貨物車、特種車)

① エリアA、B、C

- ・ 将来の駐車需要量に対して路外駐車場の整備量（供給量）が不足しています。
- 現在、貨物車用のPMが一定数整備されており、それら貨物車用のPMを活用することにより概ね問題ないと想定されます。

② エリアD

- ・ 将来の駐車需要量に対して路外駐車場の整備量（供給量）が不足しています。
- 区有施設の再編や波除通りの路上の荷捌きスペースの整備等で受け入れることの検討が必要です。
ただし、場外市場の快適な歩行環境の整備及び荷捌きルールと合わせた整備台数の検討が必要となります。

3 将来の駐車需要量と駐車場供給量を踏まえた課題及び対応方針

(3) 大型車両(バス)、自動二輪車

① 大型車両（バス、マイクロバス）

- ・ 大型車両（バス、マイクロバス）の路外駐車場については、市場橋駐車場と築地本願寺にしか設置されておらず、ピーク時間帯には駐車需要量が駐車場供給量を上回り、周辺には路上駐車する大型車両（バス）がみられます。

→ 不足分の路外駐車場の確保が必要となります。

② 自動二輪車

- ・ エリアDで路上の駐車台数が多く、駐車需要量に対して路外駐車場の整備量（供給量）が不足しています。

→ 不足分の路外駐車場の確保が必要となります。